

11月17日 第10回記念遠野市郷土芸能大共演会

郷土芸能の魅力が集結

同共演会は市民センター大ホールで開催され、市内外の郷土芸能10団体が出演。地域に受け継がれる伝統の舞で来場した約450人を魅了しました。10回目の開催を記念し、



トリを飾った板澤しし踊り保存会

市外から中野七頭舞保存会と花巻農業高等学校鹿踊部が特別出演。各団体は洗練された演舞を披露し、会場からは大きな拍手が送られました。

11月22日 令和元年度消防機械器具配置式

地域の防災力を高める

配置式が市総合防災センターで行われ、小型動力ポンプ2台と車両2台が新たに配置されました。式には、配置先の綾織町、附馬牛町、松崎町の消防団員ら約30人が出席。本山市長から



新車両を確認する団員

市消防団の松田克之団長に配置書が手渡され、団員は地域の安全を守る決意を新たにしました。導入費用は約1,400万円です。

11月24日 第16回市民健康講座・地域包括ケア推進セミナー2019

地域で健康福祉を考える

あえりあ遠野で行われた両イベントに市民ら約330人が参加。NHK B C岩手放送アナウンサーで本市出身の菊池幸見さんが講演したほか、住民が安心して暮らすための地域包括ケア活動



方言を交えた話で会場を元気にした菊池アナ

の取り組み事例が紹介されました。参加者は、ユニークな講演に笑みをこぼしながら、健康福祉への関心を深めました。

11月15日 遠野北小で「障がい者体験型人権サッカー教室」初開催

サッカーで学ぶ人権問題

目の見えない状態で行う5人制サッカーを通して人権を考える「障がい者体験型人権サッカー教室」(花巻人権啓発活動地域ネットワーク協議会主催)が同校で初開催され、



目の不自由な状態を体験しました

6年生47人が参加。人権擁護委員による人権教室や5人制サッカー体験教室が行われ、児童らは人権と共生社会について理解を深めました。

11月20日 上閉伊酒造が収穫祭を開催

農業体験、最後はおいしく

上閉伊酒造株式会社(青笹町)主催の収穫祭は青笹地区センターで行われ、青笹小5年生20人が参加。児童らは、自分たちが田植えと収穫をしたお米で餅つきを体験し、



きねを力いっぱい振りおろしました

つきたての餅を味わいました。一連の農業体験は日本酒ができるまでの過程を学ぶために同社が毎年行っているもので、今年で4年目になります。

11月23日 明日の遠野の環境を考えるフォーラム2019

豊かな自然を未来に繋ぐ

同フォーラム(環境フロンティア遠野主催)はあえりあ遠野で開かれ、市民ら約70人が参加しました。NPO法人遠野エコネットの千葉和代表理事が間伐と森林保全について



小学3年からの研究成果を発表する菅原さん

講演。菅原寛さん(遠野中1)、野木宏祐岩手南部森林管理署遠野支署長が活動事例を発表し、参加者は自然を守る意識を新たにしました。

10月29日 第46回遠野市乗用馬市場

遠野産馬に全国が注目

同乗用馬市場は遠野馬の里で開かれ、1~4歳馬とポニー合わせて23頭を上場。本州唯一の乗用馬市場に全国から購買者が訪れ、遠野産馬に熱い視線を向けました。最高



最高額で落札されたボルボロン

価格は(一社)遠野市畜産振興公社が所有するボルボロン(3歳)の211万円。落札頭数16頭、売上総額は前年比48%増の1,653万円でした。

11月11日 遠野市シルバー人材センター創立30周年記念式典

地域と歩み続けて30年

同式典はウエディングパレス道で行われ、会員ら約80人が参加。同センターの30年にわたる歩みを振り返りました。式典では、会と関わりの深い事業者と長年活動する役員



活動に力を尽くす会員に感謝状を贈呈

らに感謝状を贈呈したほか、20年以上活動を続ける会員16人を表彰。参加者は、同センターの継続と発展に向けて意欲を新たにしました。

11月13日 100歳の誕生日を家族らがお祝い

青笹町の佐々木フクさん100歳

家族らに囲まれフクさんの100歳を祝う会が同町の自宅で開かれ、飛内雅之副市長らが祝福しました。大正8年に釜石市に生まれたフクさんは18歳で青笹町の松太郎さん(故人)と結婚。



温かな祝福を受けるフクさん

農業で生計を立てながら5人の子どもを育て上げました。現在は、孫14人・ひ孫15人に恵まれ、自宅で穏やかに過ごしています。

10月26日 全国菊池の会総会

全国の菊池さん遠野に集う

全国の菊池姓にゆかりのある人や本市の友好都市・熊本県菊池市出身者などで組織される同会。総会にあえりあ遠野で開かれ、参加した約40人の会員が菊池の縁を深めました。本市で同総会が行われたのは20年ぶり2回目。一行は翌日、



全国から会員が集まりました

カッパ淵や市立博物館など市内を視察し、本市の歴史文化を学びました。

11月7日 家族らに囲まれ長寿を祝う

土淵町の象坪タツノさん100歳



祝福され笑顔を見せるタツノさん

タツノさんの100歳を祝う会が開かれ家族らが祝福。記念品や花束を受け取ると、タツノさんは「ありがとうございます」と笑顔で応えました。大正8年に住田町で9人きょうだいの長女として生まれ、結婚後は縫製工場などに勤務。現在は本市に住む家族と一緒に、穏やかに暮らしています。

11月11日 あすチャレ! Academy

まずは心のバリアフリーから

障がいに関する知識や障がい者とのコミュニケーションを学ぶ同アカデミーはあえりあ遠野交流ホールで開かれ、市民ら約40人が参加。「パラリンピック」金メダリストの永尾由美さんが



視覚障がい者への支援方法を体験する参加者

体験をもとに講話し、「ハードは変えられなくてもハードは変えられる」と心のバリアフリーの重要性を伝えました。